

NISA で投資したい商品は圧倒的「日本株」。

2014年1月にNISAが始まり2カ月が経った。個人投資家の関心の高さについて2014年3月3日(月)付日本経済新聞電子版ニュースは下記のように伝えている(一部を引用)。

「日本経済新聞社が読者モニターに調査したところ、2月中旬時点でNISA口座を開設した人はほぼ半数の48%に達した。…(略)…2月11～16日に日経生活モニターの利用状況をアンケート調査した。有効回答は995人。口座については開設を予定する人が20%おり、既に開設した人と合わせると7割近くになる。NISAのモデルとなった制度を1999年に導入した英国の口座開設者は4割程度で、国内の個人の意欲の高さは際立つ。」さらに3月5日(水)付け日本経済新聞朝刊にはアンケート調査結果の詳細を発表しており、それは「NISAは年100万円までの投資の配当や売却益が非課税となる。口座を開設した人に今年の投資予定額を聞いたところ「80万～100万円」が42%を占めた。「20万円未満」は7%にとどまり、非課税枠を最大限に利用しようとする個人投資家が多い。NISA口座を開設した人に投資したい商品を聞いたところ、**日本株の個別銘柄が69%でトップ。「上場投資信託(ETF)や不動産投資信託(REIT)」「(32%)、「インデックス投信」(22%)が続いた。開設者の3割は2月上旬までに投資済みだった。目立つのが配当や優待を狙った日本株への投資だ。…(略)…NISAが始まってまだ2カ月。口座を開設した人でも「投資をしていない」との回答は7割を占める。」とあった(*URLは後述[参考ホームページ])。**



既存投資家(投信全体)では日本株とハイイールド債、REIT。

既存投資家の投資が反映される国内投信全体の2014年2月における純設定について分類を見ると、1位に日本株ファンド、2位にハイイールド債ファンド、3位にREITファンド、4位に米国債券ファンド、5位に米国大型ブレンド株ファンドとなっている(合計は最も下方にある+4375億円)。前月2014年1月は圧倒的1位に日本株ファンド、2位にREITファンド、3位にハイイールド債ファンド、4位に米国大型ブレンド株ファンド、5位にその他オルタナティブ・ファンド(日本株ブルベア・ファンドのブル中心)だった。冒頭の記事のように、日本株の個別銘柄だけでなく、一般の国内投信全体でも、日本株は人気のようである。

日本の投信の分類別月間資金純流入(資金純流入の大きい順)
*単体型及び追加型投信(ETFとMMF等日々決算型を除く)。



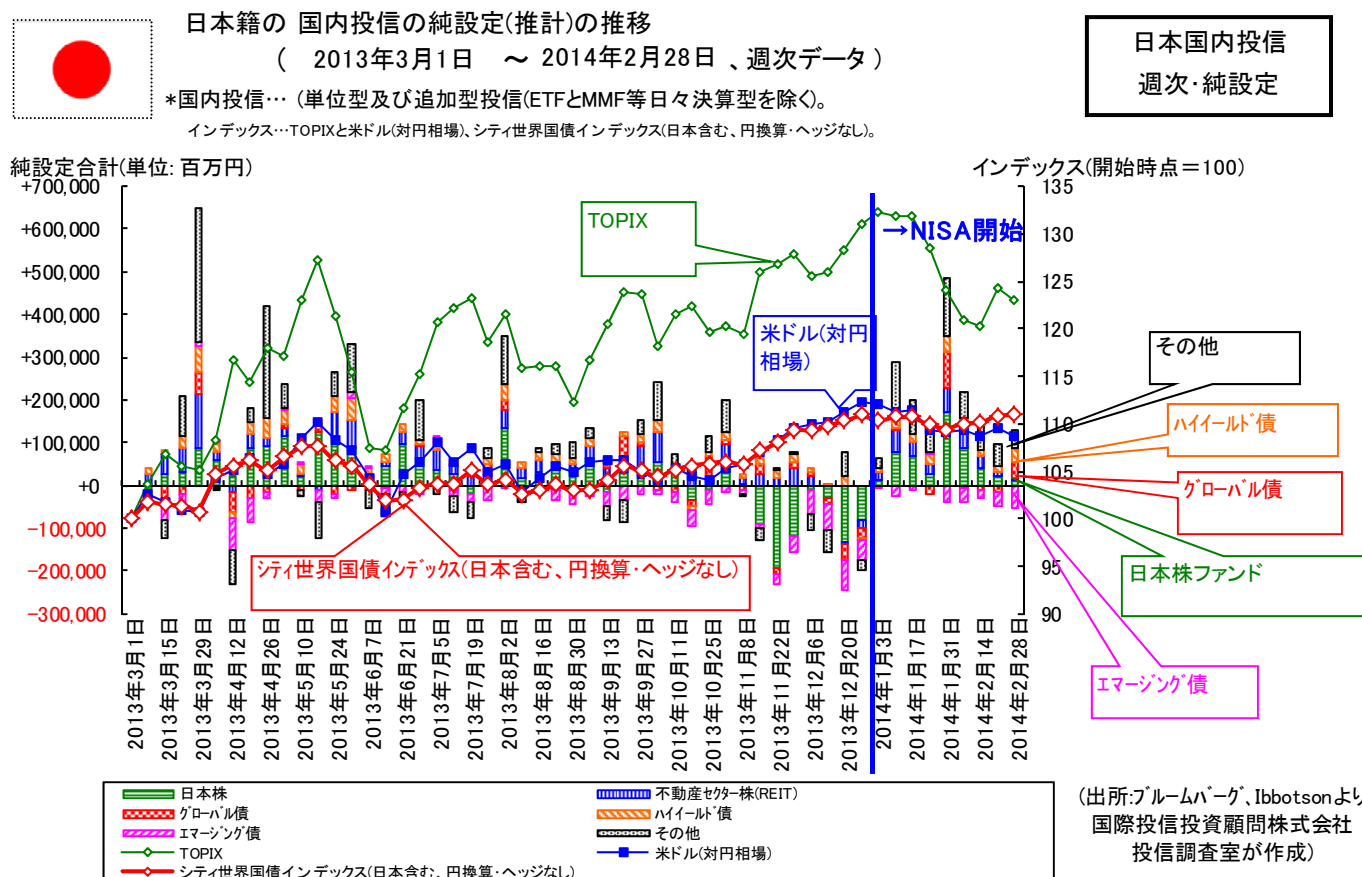
2014/02/28

順位	分類名 (Morningstar Global Category)	資金 純流入 最新月 (百万円)	資金 純流入 前月 (百万円)	資金 純流入 1年間 (百万円)	純資産 (百万円)
1	日本株	+176,983	+355,791	+1,653,135	8,226,028
2	ハイイールド債	+90,418	+130,791	+1,006,403	5,604,396
3	不動産セクター株(REIT)	+82,508	+164,079	+1,517,558	8,505,423
4	米国債券	+74,908	+71,679	+762,066	1,250,010
5	米国大型ブレンド株	+71,554	+96,994	+827,022	1,440,978
6	グローバル株	+37,603	+57,844	+792,486	4,814,656
7	アセットアロケーション柔軟型	+34,518	+75,914	+244,545	621,089
8	日本債	+22,383	+32,030	+132,900	1,639,416
9	グローバル債	+14,575	+69,212	+97,327	7,411,412
10	アジアバシフィック債	+11,811	+20,737	-519,912	2,075,699
11	アジア株(除く日本)	+7,929	+31,442	+180,926	746,454
12	その他オルタナティブ	+7,923	+84,107	+157,401	285,504
13	アセットアロケーション債重型	+5,377	+8,226	+32,758	328,104
14	欧州大型株	+4,642	+13,064	+180,853	258,149
15	日本マネー・プール	+2,993	-32,056	+15,251	54,642
16	マーケット・ニュートラル	+1,407	-151	+3,334	21,293
17	商品・バスケット	+432	+1,063	-523	68,706
18	ターゲットデット2021-2045	+219	+367	+1,527	28,162
19	インフレ連動	-13	+22	-1,816	5,674
20	アジア債	-211	-260	-3,211	14,571
21	通貨	-507	+410	+1,219	6,542
22	ユーロ債	-902	-757	-31,265	105,994
23	多種オルタナティブ	-2,241	+2,748	-25,470	331,626
24	ロング・ショート	-2,303	-2,717	-27,318	53,158
25	インド株	-3,937	-6,338	-105,002	334,901
26	中国株	-4,499	+5,731	-192,616	282,858
27	アセットアロケーション標準型	-5,654	-5,917	-215,371	1,172,816
28	CB	-8,349	-6,109	-95,822	351,795
29	エマージング株	-17,104	-19,572	-93,532	1,777,519
30	アセットアロケーション積極型	-28,817	-34,792	-325,756	2,694,153
31	エマージング債	-136,159	-67,287	-1,146,524	6,120,160
	全31分類の合計	+437,488	+1,046,297	+4,822,575	56,631,888

(出所:ブルームバーグ、Ibbotsonより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

ただ、これは投信全体であって、NISAの投信にも当てはまるとは限らない。だが、個々の販売会社の発表するNISAに関するデータを見ていくと、たとえば、SBI証券は2月24日～28日に買付金額として「1～3位毎月分配型REITファンド、4位豪ドル債券ファンド、5位毎月分配型通貨選択型ファンド」、カブドットコム証券は1月の買付として「1～3位毎月分配型REITファンド、4・5位日経225インデックスファンド」、岡三オンライン証券は1月24日～29日に「1位日本株、2位海外株・新興国、3位REIT」となっていた(2014年3月7日現在における各社ホームページ)。これは投信全体のデータと近いものがある(URLは後述[参考ホームページ])。やはり金額的に見ると、投信全体の傾向がNISAの傾向に反映、つまり、既存投資家が従来通りの投資方針でNISAへの投資もしている可能性が高いと言ったことであろう。カブドットコム証券は「従来から投資家の人気を集めているリートファンドとインデックスファンドが人気を二分。」とコメントしている。

より詳細に、より新しいもので、トレンドを見るべく、国内投信全体の純設定を週次で見た。投信全体の純設定は2月28日週に+848億円と、9週連続の資金純流入。分類別に見ると、グローバル債ファンドが純流入額は一番多く、次にハイイールド債ファンド、その他に含まれる米国大型ブレンド株ファンドであり、日本株ファンドは減っている。



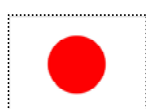
NISA向け(新規投資家)では日本株が一番人気だが、アセットアロケーション柔軟型も。

上記は既存投資家が従来通りの投資方針でNISAへの投資をしているとみなし、投信全体を見たこととなるが、「NISA向けファンド」はどうだろうか? 「NISA向けファンド」とは、投資信託協会が言う「NISA向けのファンド(*分配頻度が低いファンド、低コストのファンド、バランス型ファンド)」を参考に(2014年1月8日付投信協会メールマガジン～URLは後述[参考ホームページ])、契約型公募投信純資産が1兆円以上ある投信会社17社(*全84社の約90%を占める、2013年11月末時点)の株式投信(ETFを含む)で「NISA向け」、「NISA専用」、「NISAで選ぶ」、「NISAにおすすめ」などと紹介されているファンドと、2013年4月以降に設定された分配頻度が低いファンドやバランス型ファンドとしている(次頁※1参照)。

※1: 2013年4月以降に設定された分配頻度が低いファンドやバランス型ファンド…2013年4月以降と言うのは、NISAが含まれる税制改正(関連)法が2013年3月30日に成立・政省令公布されたため。尚、単位型・繰上償還条件付・満期/償還付・毎月分配型・四半期分配型・DC・SMA・ミリオン(従業員積立投資プラン)を含めていない。ただ、同じシリーズが該当している場合は年1~2回以外を含めている。しかし、通貨選択型については、年1~2回以外を除いている(*マネー・プールは年1~2回でも除いている)。こうした「NISA向けファンド」を抽出した所、2014年2月28日時点で459本となった。

「NISA向けファンド」の純設定は2月28日週に+269億円と、前週(2月21日週)の+224億円をわずかに上回ったものの、前月1月31日週の+779億円という、2013年8月2日週以来半年ぶりの大きな資金純流入から減少している(*NISA口座以外を含む)。

分類別に見ると、2月月間の一番人気は1月と同様、日本株ファンドで、その他では米国大型株ファンド、アセットアロケーション柔軟型が人気となっている。より細かく週次で見ると、最新2月28日週は、日本株ファンド、その他に含まれるエマージング株ファンドやアセットアロケーション柔軟型が人気となっている。前月1月は日本株ファンドが一番人気で、その他、REITファンドやグローバル債ファンド、ハイイールド債ファンドが人気だった。2月は日本株ファンド、アセットアロケーション等ファンドが人気といえそうだ。

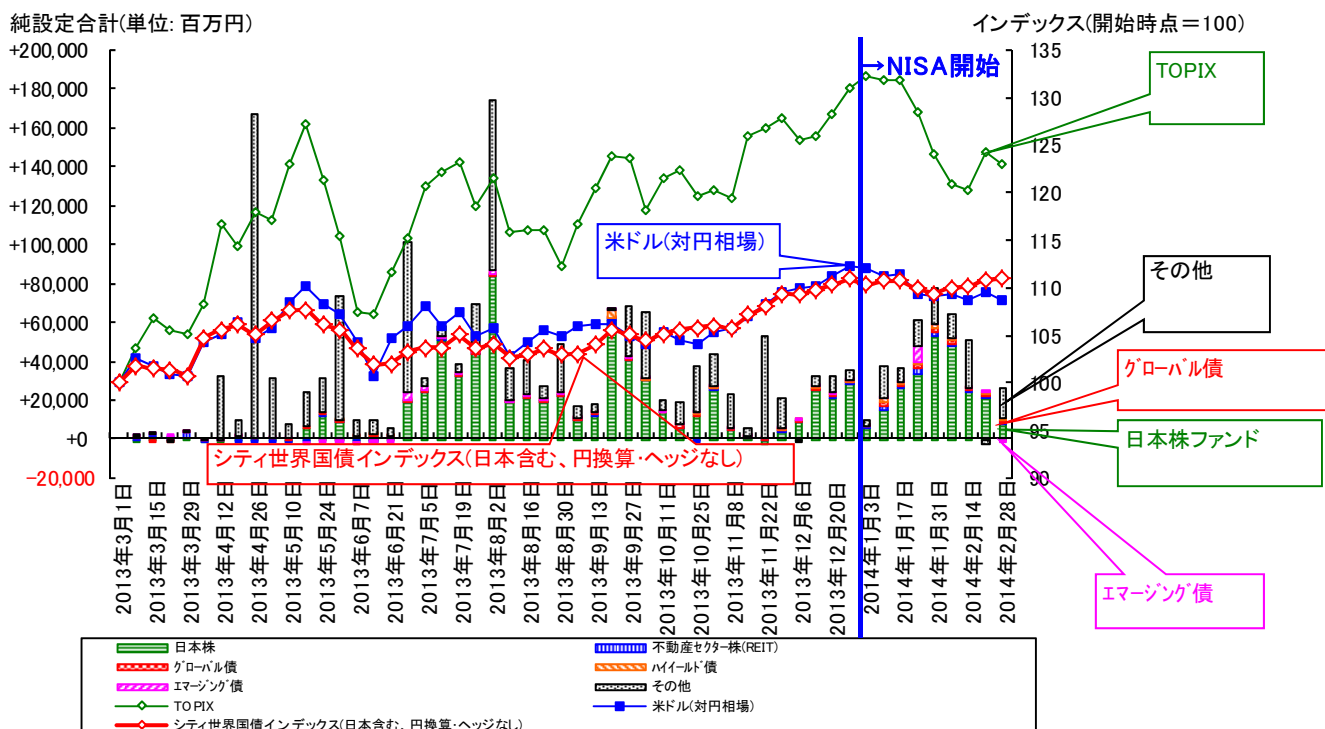


日本籍のNISA向けファンド(ETFを含む追加型)の純設定(推計)の推移
 (2013年3月1日 ~ 2014年2月28日、週次データ)

*NISA向けファンド(ETFを含む追加型)… 2014/02/28 現在458本ある現存ファンドについて。

インデックス…TOPIXと米ドル(対円相場)、シティ世界国債インデックス(日本含む、円換算・ヘッジなし)。

日本のNISA向けファンド
 週次・純設定



(出所:ブルームバーグ、Ibbotsonより国際投信投資顧問株式会社投信調査室が作成)

前回コラムで、「しばらくはNISAのファンド分類(投資対象)は一般個人投資家向けファンドと近いままの可能性が高いが、中長期的には英国ISAや日米DCの様なアセットアロケーション・ファンド拡大の可能性は高い。」としたが、NISA開始2カ月でアロケーションファンドが登場しているようだ。引き続きデータや報道、各社ホームページ等をしっかり見てNISAの傾向を判断していきたいものである。

[参考ホームページ]

2014年3月3日付日本経済新聞電子版…「http://www.nikkei.com/article/DGXNASFE2703V_R00C14A3MM8000/」
2014年3月5日付日本経済新聞朝刊…「<http://www.nikkei.com/article/DGXDZO67739910U4A300C1PPF000/>」、2014年1月20日付日本版ISAの道その42「NISAで何を買う? 2014年最初の週は新規投資家(NISA向けファンド)ではアセットアロケーション等ファンドと日本株ファンドが中心で、既存投資家(投信全体)では日本株ファンドとREITファンドが中心のようである。」…
「<http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/140120.pdf>」、SBI証券の各種ランキング…
「<https://www.sbisec.co.jp/ETGate/>」、カブドットコム証券のNISA口座買付…「<http://diamond.jp/category/zol-nisa>」、岡三オンライン証券の「NISA開始1ヵ月アンケート」の調査結果…「<http://www.news2u.net/releases/120036>」、2014年1月8日付投信協会メールマガジン…「<http://www.toushin.or.jp/mailmag/>」、2014年3月3日付日本版ISAの道その47「NISAや日本版IRAの参考になるDC動向～中長期的なアセットアロケーション・ファンドの拡大可能性～」…「<http://www.kokusai-am.co.jp/news/jisa/pdf/140303.pdf>」。

以上

(投信調査室 松尾、窪田)

本資料に関してご留意頂きたい事項

本資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、国際投信投資顧問が作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。なお、以下の点にもご留意ください。

- 本資料中のグラフ・数値等はあくまでも過去のデータであり、将来の経済、市況、その他の投資環境に係る動向等を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の国際投信投資顧問 投信調査室の見解です。

本資料中で使用している指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)は、(株)東京証券取引所及びそのグループ会社(以下、「東証等」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウは東証等が所有しています。
- ・シティ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクの開発したものです。